

あなたを救う微量元素ミネラル



微量元素ミネラルから
あなたの「健康な毎日」が生まれます。

微量元素ミネラル

医師

新田紀夫

遺伝子からの
メッセージ

代替医療・ 統合医療の 必要性



医師 新田紀夫 (にったのりお)
ミネラル研究家
■プロフィール
弘前大学医学部卒業、山形県立中央病院、
南仙台病院開設、仙台徳洲会病院、
仙台東脳神経外科病院などを経て、
現在、医療法人翠十字社都千愛病院勤務

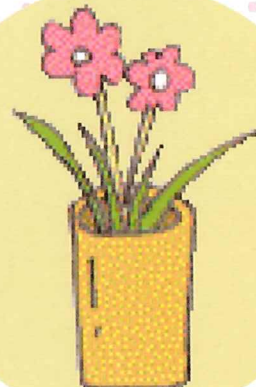
アトピーや
肌荒れに
幼児、又は症状により
2~4倍にうすめて使用



ペットの消臭
毛艶に



切花や植木に
水1リットルに対して10cc加える



まな板や
食器の殺菌に



化粧水として
全身に



野菜やお肉の鮮度維持に
また、農薬や添加物の除去に



ご飯やお味噌汁の
日持ちを良くします
米1合に対して10cc加える



フケ・抜け毛予防、育毛
洗髪後、直接頭皮につけてマッサージ



水虫に

試してよかった!即効・効果!!..だから、う・れ・しい

試してよかった 即効・効果!!

微量元素ミネラル水溶液の飲用以外の使用法

こんなとき



虫刺されに

火傷に
(やけど)に



水でよく冷やしてから
スプレー



喉が痛いとき

微量元素ミネラル水溶液 飲量の目安

微量元素ミネラル水溶液を飲む



エネルギーの素
酵素の働きを活性化

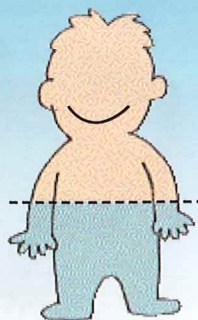
細胞が蘇る

※下の図は、健康な方の予防のための量(目安)を示したものです。
その方の症状によって摂る量が変わります。

1日の飲量目安 = (体重 ÷ 2) cc

たとえば
あなたの体重が60kgなら...

微量元素ミネラル水溶液
分量(原液)は、"60"の1/2の数
値。すなわち、30。
30ccになります。



体重の
1/2
の数値

◎飲み方の目安(1日30ccの場合)

朝食前 10cc
昼食前 10cc
夕食前 10cc

40ccの場合、就寝前に10cc
を増してお飲み下さい。

■ミネラルは病気を予防する!!

現代は、医学の目覚ましい発展により、細胞内の「ゲノム(微量元素)解析」から将来の発病予測までできるなどすばらしい時代です。しかしながら、わが国の医療の中核基盤にあるものは西洋医学であり、発病を予測できたとしても、その概念から「未発病の病には対処できない」のが現状です。つまり、「放っておいたら病気になるのがわかっているのに、発病しないから対処できない...」ということでもあります。

病気にならない為には生活習慣の見直しをするなど「予防」が大切です。そして健康的な生活を営む上で一番大切なことは、私たち人間に本来備わっている「自然治癒力」を常に良好な状態に保つことです。

「自然治癒力」を保持するには、健康な細胞・組織・器官の働きがあってこそです。そしてそれを最大限に引き出すのが、「微量ミネラル」であると、医師である私の臨床結果・研究からも述べることができます。いま、西洋医学を置き換えるとすれば「微量元素(ミネラル)」による代替医療です。ミネラルは、病気予防の面で最大限の力を発揮してくれるに違いありません。

■ミネラルが身体に良い理由とは?

実際使っていて改善が観られるのに未だ理由が解らない事も有ります。解っている事は、ミネラル水には人体に必要なミネラルがバランス良く溶け込んでいて、それがイオン化されている為、吸収されやすい事と、0.5μmセラミックスフィルターでろ過するのですが、水の最小単位(クラスター)が自然の状態の水の最小単位(クラスター)と比べてイオン化されたミネラルの影響でしょう、2分の1~3分の1(ミネラルの濃度による)に安定的に成っています。

ミネラル水は身体に入ると血液と混ざり、血液の流れをスムーズにします。水の分子が小さいため体の細胞の隅々まで潤いを与えます、血液の働きを大きく助け酸素・栄養を運び病気の人の身体には患部に薬を的確に届け、細胞から排出される老廃物を体外に運び出す能力を十分に発揮します。つまり血液の持つ本来の力を最大に発揮させる力がミネラルにはあるためなのです。それは現代人にとって、本当の健康な体作りの為に必要不可欠と言えます。

微量元素ミネラル療法が生活習慣病に挑戦!!

生活習慣病とは

生活習慣病は、食生活・運動不足・ストレス・喫煙・飲酒などの生活習慣の影響を受けて発症したり、進行したりする病気の総称です。主な生活習慣病には、ガン・脳卒中・心臓病・糖尿病・高血圧症・骨粗しょう症・アトピーなどがあり、また発症まで自覚症状がほとんどなく、一つの病気が他の病気の引き金になるのが特徴です。

近年、日本人の死亡原因の約6割以上が生活習慣病であり、日頃の「予防対策」が重大なポイントであると言えます。

ミネラル不足がもたらす病気		
ミネラル名		主な欠乏症
カルシウム	Ca	骨格変型、虫歯、骨粗しょう症、破傷風
鉄	Fe	貧血、脱毛症、成長障害
亜鉛	Zn	成長抑制、生殖腺機能障害、精力減退、血糖値異常、免疫力低下
マグネシウム	Mg	糖尿病、動脈硬化症、不整脈
マンガン	Mn	骨格変型、発育障害、糖尿病、脂肪代謝異常
銅	Cu	貧血、毛髪色素欠乏症、栄養疾患、動脈硬化症
コバルト	Co	貧血、食欲減退
クロム	Cr	糖尿病、高血糖症、動脈硬化症

※代表的なミネラル不足についての一例です。

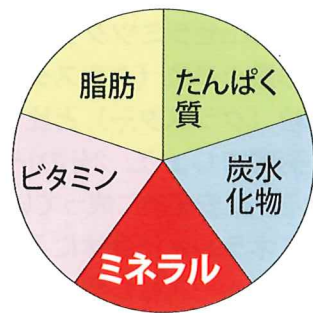
現代病の原因は、ミネラル不足だった!!

知らない大変なことになる!!

微量元素(ミネラル)は人間の体内で、合成が不可能!!

ミネラルは、自分の体内で作ることができません。そのために、体細胞内での重要な生命・健康維持活動の際に外部から取り込めないと、体に異常が発生します。

たとえ取り込むことができても摂取量が少ないと、欠乏症が起こり、さまざまな病気を引き起こしてしまいます。

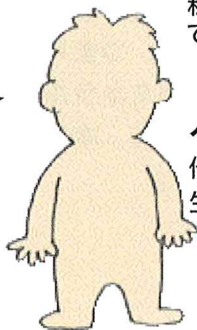


五大栄養素の内、ミネラルだけは無機質(金属類)であり、私たちの体内で合成は不可能です。

微量元素(ミネラル)は…

外から摂取する以外ありません。

食べ物、水など食べて吸収してはじめて体内で活きる。



人間も他の動物も…生物すべて

ミネラルとは

ビタミンとともに、私たちの「体に必要な金属元素」です。身体の発育、代謝、生理作用をコントロールする働きがあり、細胞のバランスを維持して神経や筋肉機能を正しく保ち、とても重要であり、健康維持に欠かせません。

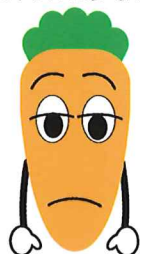
今、野菜のミネラルが減っている!!

重要

50年前
ミネラル豊富



現在
見かけは大きい、ミネラルは少ない



日本の総患者数

※資料:厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」
※総患者数とは、現在入院・外来治療中の患者数

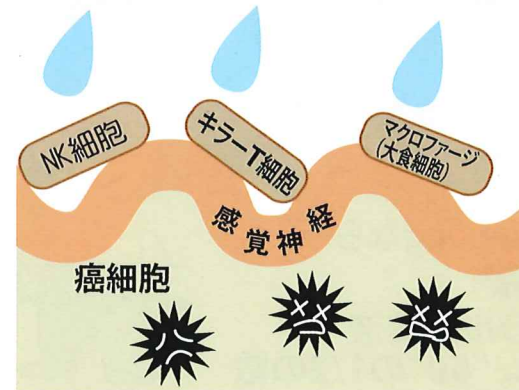
- ①高血圧性疾患796万7千人
- ②歯(支持組織含)疾患600万2千人
- ③糖尿病237万1千人
- ④ガン151万8千人
- ⑤脳血管疾患133万9千人
- ⑥白内障91万7千人

ラル水溶液

ガン細胞への働きかけ～メカニズム

微量元素ミネラル水溶液を飲む

微量元素ミネラル水溶液



微量元素ミネラル水溶液は間接的に

- ◆癌細胞の成長を止める
- ◆まわりの感覚神経を刺激しない
- ◆痛みがとれる

日本人の死因の第一位は「ガン」

そして、心疾患、脳血管疾患…と続く。実際に高血圧性疾患の患者は増加中。僅かではあるが、糖尿病による死亡数も増加傾向。糖尿病は合併症が怖い。治りにくい! また、近ごろの新型インフルエンザは、こうした生活習慣病を抱えていると、感染後に多臓器不全などのリスクが高まり大変危険!!

こんなにイイ!!

微量元素ミネラル水溶液の特長

微量元素ミネラルは痛みをとる

●末期ガンはもうれつな痛みをとれない、患者さんに耐えがたい痛みを与えるが、疼痛をやわらげ取除く。

微量元素ミネラルは副作用をおこさない。

●ガンの抗ガン剤治療や放射線治療を受けると、さまざまな副作用に悩まされる。西洋医学に微量元素ミネラル療法を併用すると副作用があまりみられない。

微量元素ミネラルはガンの当面の転移をふせぐ

●病理学的検討がないため、たしかな事は言えないが「微量元素ミネラル水溶液」は飲用後のある期間、ガンの転移をさせない働きがあり、またガンを消滅させる何らかの働きがあると考えられる。

微量元素ミネラルはガンの種類を問わず

●循環器系、消化器系、呼吸器系を問わず「微量元素ミネラル水溶液」はすべてのガン治療に確かな効果をあげている。

ミネラルは、本来体に必要不可欠な健康のため。



●生活習慣病

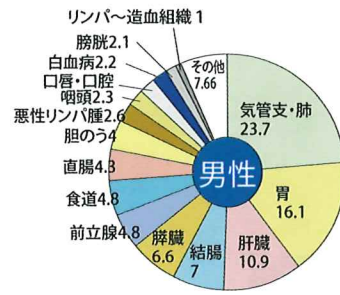
ガン、糖尿病、アレルギー、アトピー、循環器病、脳硬塞、肝臓病、肥満、腎臓病、他



怖い生活習慣病!!
予防は、十分な
"ミネラル摂取"
が大きなポイント!!

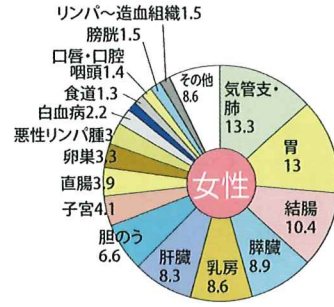
臓器別がんの死亡率(単位:%)

死亡人数 男:206,354人



※資料:厚生労働省「人口動態統計」平成20年
※男女の死亡人数は、人口10万対での数値

死亡人数 女:136,609人



もはや世界一"長寿大国"日本も今...
生活習慣病の予防対策になすすべなし?!

「ミネラル欠乏に力強い味方!!」

微量元素ミネ

微量元素

常量ミネラル

- コバルト** ■単独で働くのではなく、ビタミン12の構成成分として働く
- タングステン** ■微量必要、酵素の働きを強化し、成長促進
- バリウム** ■微量必要、酵素の働きを強化し、成長促進
- チタン** ■酵素の働きを強化
- カルシウム** ■骨・歯の形成、血液の凝固を促す、神経細胞を守る
- リン** ■エネルギー代謝、酸・アルカリのバランス調整、骨や歯の形成
- マグネシウム** ■ビタミンA・B・C・D・Eの保持と活性化、酵素の触媒、精神安定・骨・肝臓・筋肉に必要な栄養素、コレステロールの沈着、糖尿病の予防、アルカリのバランスの調整、腎不全の予防
- カリウム** ■代謝促進、生理機能の正常化、神経刺激の伝達、酸アルカリのバランスの調整
- ナトリウム** ■代謝促進、神経のコントロール、生理機能の正常化

微量元素ミネラル水溶液とは、原料である花崗岩(カコウ岩)を強酸で溶かし、微量元素を抽出したものでそれを水で薄め飲料用に適した水溶液(酸っぱい)である。

微量元素ミネラル水溶液の主な成分

※微量元素ミネラル水溶液は、安全が確認されております。

- | | |
|--------|----|
| リチウム | Li |
| アルミニウム | Al |
| ゲルマニウム | Ge |
| 鉄 | Fe |
| マンガン | Mn |
| 亜鉛 | Zn |
| 銅 | Cu |
| モリブデン | Mo |
| クロム | Cr |
| バナジウム | V |
| ニッケル | Ni |
| ケイ素 | Si |
| セレンウム | Se |
| コバルト | Co |
| タングステン | W |
| バリウム | Ba |
| チタン | Ti |
| カルシウム | Ca |
| リン | P |
| マグネシウム | Mg |
| カリウム | K |
| ナトリウム | Na |

微量元素

※生物学において人体に多く含まれているミネラルは水素、酸素、炭素、窒素、硫黄、塩素、リン、カルシウム、カリウム、マグネシウム、リンの11種類で全体の99パーセント以上を占めます。その中のナトリウム、カルシウム、カリウム、マグネシウムは金属元素で、これに塩素とリンを加えた6種類を常量ミネラルと言います。残りのほとんどの元素が微量元素と呼ばれるもので、常量ミネラルと合わせて100種類ほどの元素があります。

ミネラル摂取のしくみと問題点

現代人のミネラル補給

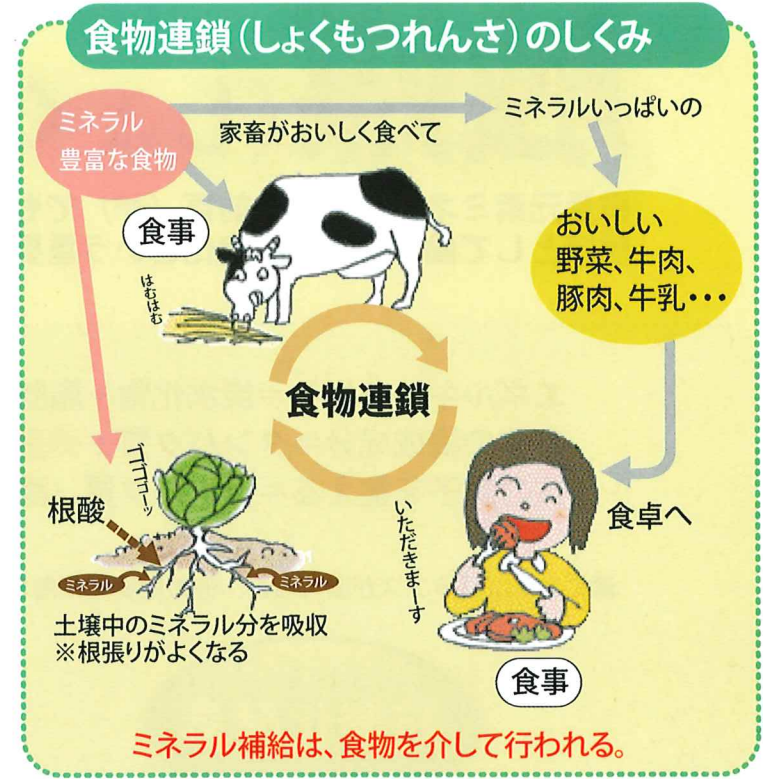
ミネラルはどのようにして摂取されるのでしょうか。

まず、植物が土壌からミネラルを吸収し、動物はそれを食べることによって体内にミネラルを取り入れています。

しかし、最近の野菜に含まれるミネラル含有量は、50年前の2分の1から3分の1であると言われています。

これは化成肥料を多用する現代農法の落とし穴で、微量成分を補給することなく、また時間をかけずに多量の収穫のみを目的とした栽培の結果です。

先進国に蔓延している現代病が発展途上国でその発症率が少ないことも、食品中のミネラル不足で説明できます。



生物の体内のあらゆる生命活動... ミネラルがその活動の中心を担う!!

「体を作る五大栄養素」

私たちの体を作っている五大栄養素として挙げられるのが、たんぱく質、脂肪、炭水化物、ビタミン、そしてミネラル(無機質)です。

人間の体の96%は炭素、水素、酸素、窒素の4つの主要元素から成り立ちます。

人体に必要なミネラルとして栄養学では、カルシウム、リン、硫黄、カリウム、ナトリウム、塩素、マグネシウムを常量とし、鉄、亜鉛、マンガン、銅、セレン、ヨウ素、モリブデン、クロム、コバルトの16種類に加え、最近では微量元素の分析が進歩し、フッ素、カドミウム、鉛等の必須ミネラル微量元素があると考えられてきました。

「ミネラルの働き」

生物の体内では、様々な反応が起こり、生命活動を行っています。

これらの反応には触媒として酵素が関与していて、酵素がなくては生命活動が滞ってしまいます。

酵素とは、たんぱく質の一種で遺伝子の情報を基にアミノ酸を数珠つなぎにしてできるヒモを立体構造に丸めたような物で、中には構造が不安定なために、生体の恒常性がくずれると壊れるものもあります。

このような酵素を安定化させ、酵素の活動中心となり重要な働きをするのが「金属元素」=ミネラルなのです。

<金属酵素CuZn-SODの構造>



微量元素を豊富にバランス良く含む「微量元素ミネラル水溶液」が現代病等に対し、予想をはるかに超えた結果を出すことから、これまでの医学的常識を一瞬にして覆す大変優れたものであるということが、理解できると思います。

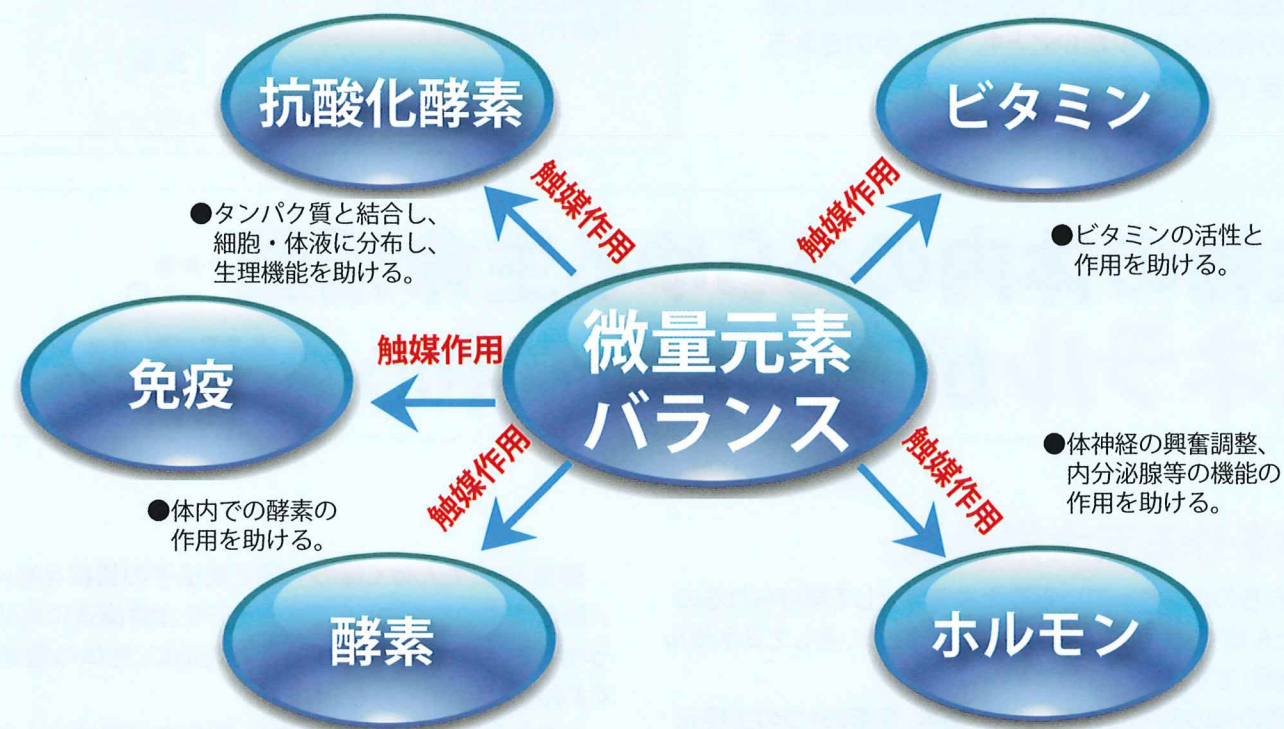
とても大事！！微量元素ミネラルのこんな働き！

触媒(しょくばい)作用

微量元素ミネラルには、前頁(4P)でも既に述べた生体内のあらゆる反応で、触媒として働く酵素の安定化という重要な役割があります。

エネルギーを作る＝炭水化物＋脂肪＋タンパク質＋微量元素
 身体の構成成分＝タンパク質＋微量元素(主にカルシウム・リン)
 体の調子を整える＝タンパク質(酵素)＋ビタミン＋微量元素

■ミネラルバランスが崩れると、他の栄養素の働きが悪くなり生活習慣病の原因になります。



危険!! 活性酸素

ガンの原因「活性酸素」とは

活性酸素はもともと生物の体内になくてはならない物質で(体内に入り込んだ「異物」や「細菌」を白血球などが分解するのに関与)、通常ならば細胞内の「ミトコンドリア」で最終的に「水」に分解される。

しかし、すべて水に分解されるわけではなく、分解しきれなくて余った活性酸素は、転じて体内において「悪事」を働くことになる。

ガンをはじめとする生活習慣病の主要な原因とも言われている。この活性酸素の増加を促す代表的な「行為」は、喫煙である。

活性酸素の増加は、細胞を傷つけガンを増加、更にビタミンCの破壊を促進し、「しみ」「くすみ」を増加させてしまう。

アンケート症例

簡的にわかりやすく簡略化したものです。

凡例

- 治癒
病が微量元素ミネラルにより治癒した
- 著効
微量元素ミネラルにより著しく効果が見られた
- 有効
微量元素ミネラルにより効果が見られた
- 無効・不明
効き目が見られない、わからない

ガン

胃ガン～食道ガン・舌ガン・大腸ガン・肺ガン・前立腺膀胱ガン・乳ガン・子宮ガン
 悪性リンパ腫・甲状腺ガン
 35人中、治癒5人、著効1人、有効27人、無効/不明2人(2週間～12ヶ月)



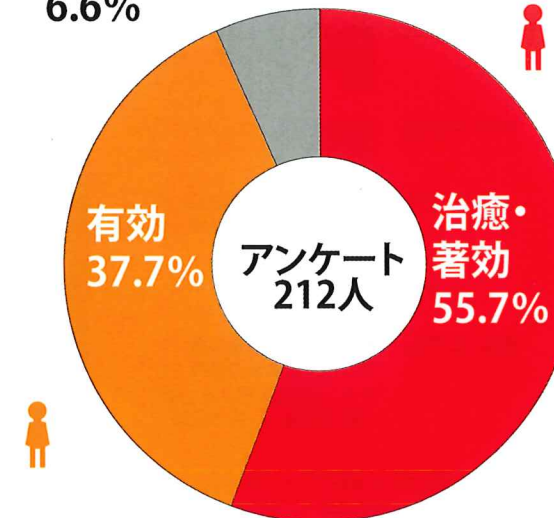
糖尿病

25人中、著効9人、有効12人、無効4人



アンケートトータル

無効・不明 6.6%

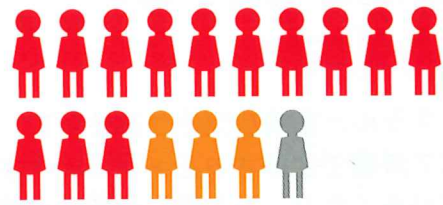


臨床結果が、すべてを物語る!!
ミネラル・生活習慣病治療への高まる期待

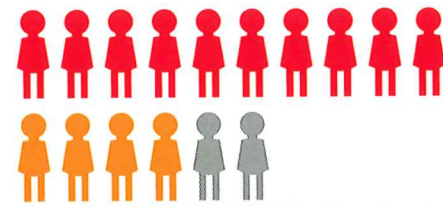
新田紀夫医師 臨床アンケート

※本データは、新田紀夫医師の臨床アンケート集計結果を基に、視

花粉症 (アレルギー性鼻炎)
17人中、著効13人、有効3人、不明1人



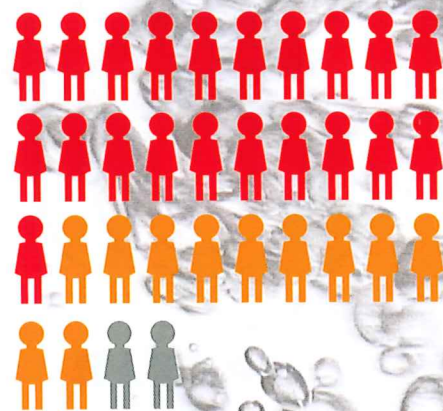
良性胃・大腸疾患
(胃炎・胃十二指腸潰瘍・潰瘍性大腸炎・胃大腸・ポリープ)
16人中、著効10人、有効4人、無効2人
著効・有効で(3日~6ヶ月)



慢性疲労症候群
35人中、著効32人、有効3人



アトピー性皮膚炎
34人中、著効21人、有効11人、無効2人



高血圧
22人中、著効16人、有効3人、無効3人
(1~7ヶ月)



気管支ぜんそく
5人中、著効4人、有効1人(~4ヶ月)



心臓疾患
4人中、著効2人、有効2人(~9ヶ月)



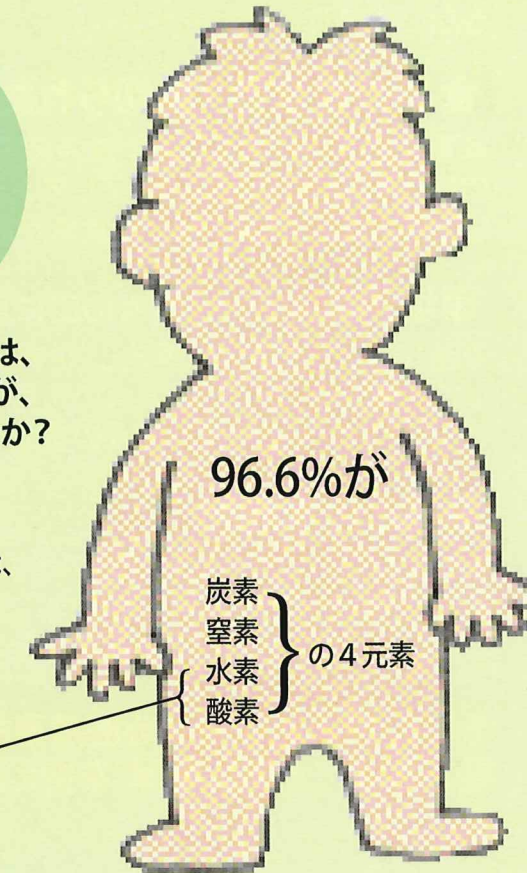
ミネラルについて知っておきたいこと 人体の必須微量元素 (必須ミネラル)

私たちの
体を分析

わたしたちの身体には、
どのような微量元素が、
どの位あるのでしょうか?

H₂Oすなわち水分比率は、
身体の75%を占めます。

水素(H)
酸素(O)



96.6%が

炭素
窒素
水素
酸素 } の4元素

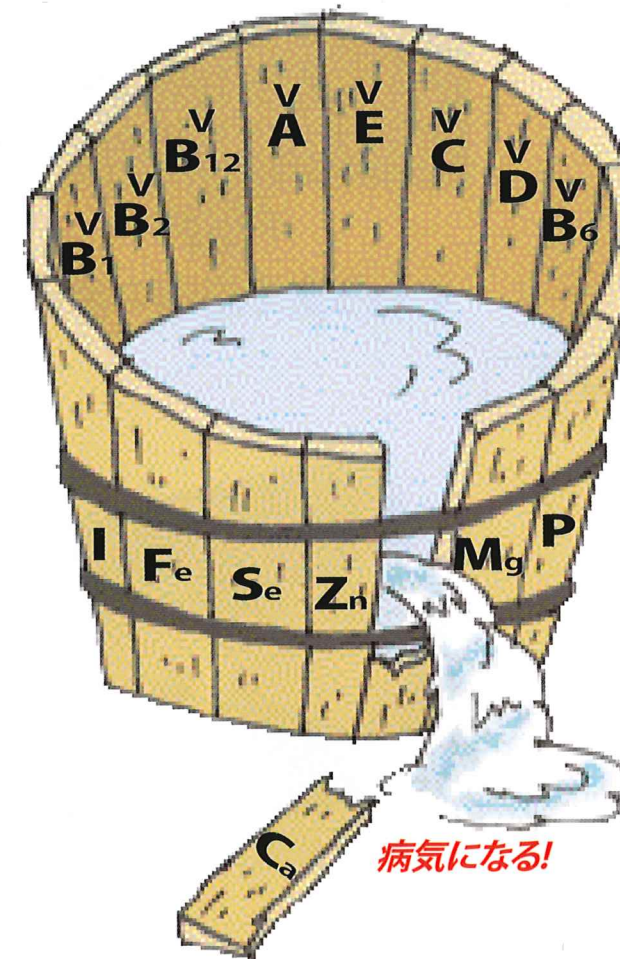
[ミネラル]

0.02%が微量元素

鉄、亜鉛、銅、
マンガン、セレン、
コバルト、クロム、
ヨウ素、ニッケル、
フッ素、バナジウム、
スズ、ケイ素、
チタン、モリブデン、
ストロンチウム、
ゲルマニウムの18元素

3~4%が中間元素

カルシウム、ナトリウム、
マグネシウム、カリウム
イオウ、リン、塩素の7元素



栄養素一つ欠けても
健康は保てない。
私たちの命を支える
// 生命の鎖の環 //

恐怖不安



私たちの健康への「脅威」が今、地球規模で起きている!!

未知のウイルス・病原菌

近年の新型インフルエンザ等、未知の病気に対する現代人の無力さ...。そして、ウイルス発生場所や感染経路を誰も予測できない恐怖!!

食品の安全性?裏切られた消費者

家畜に広がる伝染病、生産者偽装事件多発!農薬の大量使用の輸入野菜。気が変になってしまいそうな、偽食品(メラミン入り乳製品等)の流通...我々の食卓が危ない!!

環境汚染◆やがて我々の口に入る汚染物質

不法投棄、工場廃水の垂流し(世界規模の問題/海洋汚染)、そして土壌汚染、河川・地下水の汚染。これらは、食物連鎖を経て、必ずその汚染物質が我々の食卓へやってくる!

農薬と化学肥料

虫も喰わないきれいな作物類の増加!最近有機栽培農家も増える傾向にあるものの、まだまだ油断できない。やたら大きく、栄養含有量の低い野菜!

そして、歯止めが効かぬ医療事故の発生!!等々...
私たちは、「大きな爆弾」を抱え込まされている状態です。

子供の生活習慣病

運動不足、睡眠不足、問題多い食生活...
これらを抱える小中学生が急増中。

子供の生活習慣病が年々増加傾向
(特に、子供の肥満は成人より危険)

肥満の原因は、食生活によるもの
(子供が好む食べ物は、みな高カロリー)

お金さえあればいつでも食べたいものが手に入る
(社会的環境)

他、妊婦の無理なダイエットは、
産後に子供が太りやすいという
研究報告も...

肥満が招く恐ろしい4症状

- 小児肥満●高血圧●高脂血症(動脈硬化)
- 糖尿病(合併症高い)
- その他、死にいたる現代病

※子供の高血圧・高脂血症:2005年→100人中10人が死亡に至った。
※子供の糖尿病(合併症):20年間で2.7倍

子供の肥満を観察すると
インスタント食品大好き
魚が大嫌い
好きなものしか食べず野菜が大嫌い
やっぱお菓子大好き

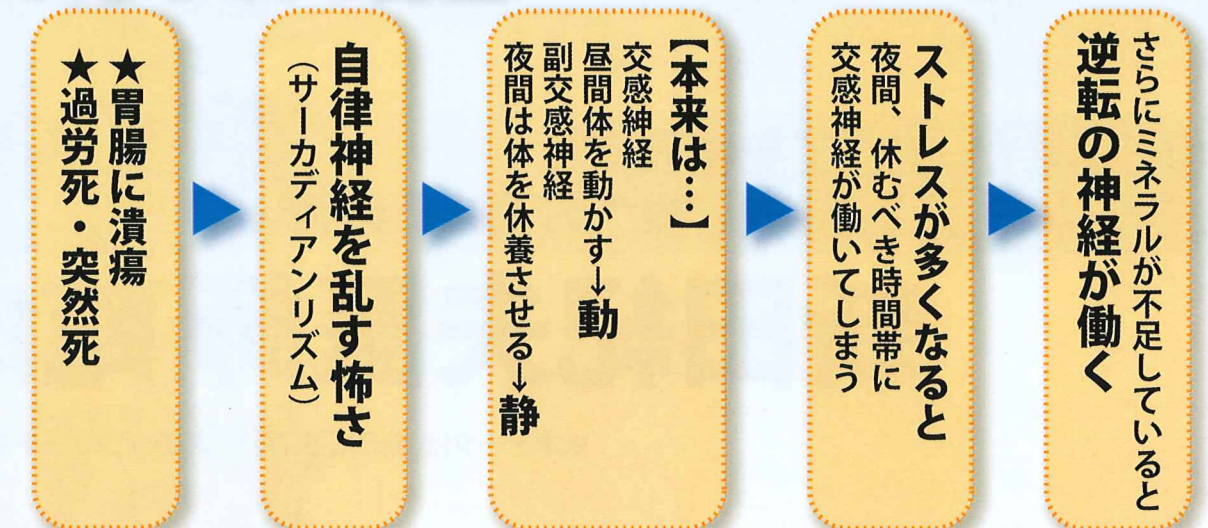
これら全て肥満の原因



微量元素ミネラルは、現代の「恐怖・不安」を解消します!

ストレスの弊害

過度のストレスが及ぼす身体の不調



血中濃度上昇
↓
ミネラルの
バランスを崩す

ストレスはミネラルのバランスを崩す!

ストレスは、ミネラルと密接な関係があります。
ストレスによって肝臓で生成されるメタロチオネンというタンパク質が多くなり、その際に亜鉛が大量に使われるために、血液中の亜鉛が肝臓に集められるからです。
銅は逆に、ストレスによって血中濃度を上昇させますが、これによる人体への影響は明らかではありません。いずれにしても、ストレスは体内のあらゆる台の上に立っているようにバランスを崩し疾病を引き起こします。

メタボリックシンドローム

■超危険!!ただの肥満ではない!

別名: 死の四重奏/インスリン抵抗性症候群/シンドロームX...

内臓脂肪型肥満によつて、様々な病気を引き起こしやすい状態のことで、一般的な肥満とは違います。

高血圧、高脂血症、耐糖能異常など...

メタボリックシンドロームを強く疑われる人
↓
全国に1,070万人
予備軍は940万人
合計約2,010万人!

厚生労働省/国民健康・栄養調査(平成19年度調査)より

【発症の推移】

